

平成27年3月4日

各 位

会社名 フクダ電子株式会社
代表者名 代表取締役社長 白井 大治郎
(コード：6960、JASDAQ)
問合せ先 社長室 経営企画部
(TEL. 03-5684-1558)

㈱日本ステントテクノロジー（ステント開発事業）への支援中止に伴う 特別損失・特別利益の計上に関するお知らせ

当社は、本日開催の臨時取締役会において、平成21年3月より段階的に出資を継続し、平成25年11月に連結子会社となりました㈱日本ステントテクノロジー（以下、日本ステント社）への支援中止を決議いたしました。

なお、日本ステント社への支援中止に伴い、特別損失と特別利益を計上致しますので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 支援先の概要

商 号：株式会社日本ステントテクノロジー
本店所在地：岡山県岡山市芳賀5303
代 表 者：代表取締役社長 坪根 泉

2. 支援を中止した理由

当社は、循環器分野での総合力強化を目的に、平成21年3月より、虚血性心疾患の治療デバイスとして重要性が増してきた冠動脈ステントの開発事業への投資の一環として、日本ステント社への支援を行ってまいりましたが、同社と開発を進めている薬剤溶出性ステントについて、当製品への開発助成をしていた独立行政法人科学技術振興機構より、昨日（平成27年3月3日）FIM試験※の経過を踏まえた『開発不成功』の通知（平成27年2月23日付）を受領いたしました。

この通知を受けて当社は、今後の当ステント開発事業の継続は困難と判断し、日本ステント社への支援中止を決議するに至りました。

3. 業績への影響の見通し

当社の支援中止にともない日本ステント社の事業継続が困難となった場合に生じる当社業績への影響は以下の通りです。

(1) 個別業績への影響

当社の支援中止決定段階における個別業績への影響は、保有株式、国内独占販売権、運転資金の長期貸付金の合計額 2,639百万円の特別損失を計上致します。

一方で、開発費用債務免除益 962百万円の特別利益を計上致します。

これは、独立行政法人科学技術振興機構から当社が借入れておりました長期借入金1,101百万円に対して、平成27年2月23日付の『開発不成功』通知により、当社借入額の90%相当が返済義務免除されることによるものです。

(2) 連結業績への影響

当社の支援中止決定段階における当社連結業績への影響は軽微であり、現時点における連結業績予想の修正はございません。

4. 今後の対応に関して

まず、今日までステント開発にご協力いただきました皆様方に 改めまして 御礼を申し上げます。
今回のFIM試験※の経過を踏まえた『開発不成功』通知は、既存の薬剤溶出性ステントに対して有効性が確認できなかったことに基づくものであり、製品の安全性は確認できております。

当社の日本ステント社への支援中止後も、FIM試験※にご参加いただいた 患者様へは継続的にフォローを行ってまいります。

なお、日本ステント社は、現在も独自で資金調達先を模索中であり、事業継続可能か検討を行っております。

※FIM (First-in-man) 試験

動物試験終了後に、最初にヒトに対して行われる医療機器等の臨床試験のことをいいます。

以上